

(別紙4(2))
目標達成計画

事業所名 :グループホーム 陽なたぼっこ

作成日 : 平成22年 3月 31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		生活空間内外の環境に対する配慮が不十分。	入居者の視界に入る空間を工夫することで、より、生活の質や安全面・衛生面の向上が図れる。	・リビングから見える室外空間に草花や季節を感じる装飾をすることで、快適で不快感の無い生活環境作りを行う。 ・リビングや浴室・脱衣所などにある備品の配置を見直すことでより安全な環境作りを行う。	2ヶ月
2		グループホームの役割が地域に周知されおらず、運営推進会議がホーム運営に活かしきれていない。	運営推進会議でグループホームの役割を知ってもらい、ホーム運営、質の向上につながる積極的な意見交換ができる。	・運営推進会議を通じて、法人やホームの運営・取り組みや、高齢者福祉の動向などを発信することで積極的な意見交換につなげ、運営に取り入れられるよう、地域の様々な参加者を募る。	12ヶ月
3		定期的な火災訓練は実施し充実しているが、自然災害(地震・風水害など)に対する災害訓練が出来ていない。	災害時(地震・水害)に対する危機管理、意識の向上が図れる。	・災害時(地震・風水害)のホーム内の危険箇所の確認や二次災害の可能性などの話し合いを行い、防災グッズ・非常食や避難経路、非常時緊急連絡網など災害時のマニュアルを確認し、共通認識とする。	6ヶ月
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。